

《学校教育目標》 ○思いやりのある子 ◎自ら学ぶ子 ○たくましい子



校
報

あしっこ

立川市立第九小学校

校長 菊池 修

立川市上砂町2-18-1

TEL042-536-2231

平成31年度 7月

公共の場での行動・マナーを学ぶ

校長 菊池 修

先週は5年生の八ヶ岳自然教室に行ってきました。立川市とは違った環境の中、子どもたちは目で見、耳で聞いて、体で感じて、八ヶ岳の自然を学んできました。

5月、6月と各学年の遠足、社会科見学、自然教室、移動教室と、学校を離れて学ぶ機会がありました。バスや電車に乗ったり、ガイドさんや施設の方からお話を聞くという機会があります。宿泊行事に関しては、一緒に食事をし、お風呂に入り、布団を並べて寝るといった生活を共にすることもあります。そういった中で、普段の生活の習慣が表れ、時には指導をしなくてはならないことがあります。特に宿泊行事の中では、今までの生活の中で知らなかったことを経験するということがあります。

たとえば、みんなで寝るための布団を敷くという作業。八ヶ岳でも日光でも、敷布団にシーツを掛けたり、掛け布団に布団カバーを掛けたりします。日常の生活では、やったことがないという子がいます。また、みんなで入るお風呂。最初に体にお湯をかけてから湯船に入ることや、手ぬぐいを湯船には入れないということ、使った椅子や桶を元の場所に戻すということも知らなかったという子がいます。

反対に、普段から家のお手伝いでやっているのだろうと感じる子もいます。食事の時に食事係として配膳の仕事をしている時や、食事の後の食器の片付けなどで、とても手際よく行動している子がいます。手際の良さから見て、日常的に配膳のお手伝いをしたり、食器の片付けをしていたりということがわかります。また、布団を片付ける時にも、普段からやっている子はテキパキときれいにたたむことができます。また、バスに乗った時にシートを倒す時、後ろの人に一声掛けるなどの気配りという点についても、さりげなくできる子がいます。

宿泊行事ばかりではありません。日帰りの遠足や社会科見学でも、リュックから物を出したりしまったりする時、お昼のお弁当を食べる時や片付ける時など、日頃の生活の習慣が表れることがあります。

個性や各家庭のやり方などはとても大事なことです。しかし集団で行動する時や宿泊するときには公共のやり方、全体のルールに合わせなければなりません。ご家庭でも、機会がある時には公共の場、他の人も使う場での行動、マナーについてお話していただけたらと思います。